

みんなの！！



# 安来市加納美術館

つうしん

2023年  
10月  
No.014

安来市加納美術館 発行

島根県安来市  
広瀬町布部 345-27

☎ 0854-36-0880

<https://www.art-kano.jp/>

発行 2023年10月  
No.014

## 秋の人形展 吾郷 江美子・もとつねけいこと夢をはこぶ仲間たち 開催



吾郷江美子「雨のち晴」



もとつねけいこ「田舎の原風景より」

島根県内で活躍する二人の人形作家の作品展です。和紙を活かした紙塑人形作家の吾郷さん（出雲市在住）。仲間とともに制作を行っている古布人形作家のもとつねさん（雲南市在）。それぞれの個性あふれる人形の世界をお楽しみください。

### 会期中のイベント

10/21 (土) **オープニングセレモニー**  
時間：10:00～

10/29 (日) 12/10 (日) **吾郷江美子さんギャラリートーク**  
時間：13:30～  
場所：美術館展示室

11/5 (日) 12/3 (日) **もとつねけいこさんギャラリートーク**  
時間：①10:30～／②13:30～  
場所：美術館展示室

11/18 (土) **アートdeトーク（対話型鑑賞会）**  
時間：①11:00～／②13:30～  
ファシリテーター：春日美由紀さん  
場所：美術館展示室

ひとつの作品を見ながら、何が見えるか、感じたこと、気付いたことなど数人で対話しながら鑑賞します。



美術館HP



Instagram



facebook



旧Twitter

予定を変更する場合があります。詳しくは美術館HPまたは、お電話でお問い合わせください。

10.21[土] ▶ 12.24[日]

休館日 / 毎週火曜日(祝日の場合翌日)

開館時間 / 9:00～16:30 (入館は16時まで)

入館料 / 一般1,100円 団体900円(20名以上)

高校生・大学生 550円 小・中学生 無料

障がい者手帳、及びこれに準ずる手帳をお持ちの方と付き添いの方1名無料

同時開催  
加納  
莞蕾展

戦犯赦免から70年ー

「キリノ大統領の赦し 莞蕾の願い」

平和を求め続けた画家・加納莞蕾。フィリピン大統領をはじめ多くの要人たちに戦犯助命嘆願書を送り世界平和を求め続けました。平和への想いを絵画作品と活動の軌跡を通して伝えます。

11/3 (金・祝) 『邦訳 加納辰夫嘆願書』  
出版記念講演会

参加無料/申込不要

嘆願書の邦訳版を出版します！

時間：13:30～15:30

講師：三島 房夫さん(本書邦訳者)

永井 均さん(広島市立大学教授)

加納 佳世子(当館名誉館長)

会場：布部交流センター(美術館となり)

11/19 (日) ワークショップ  
ー紙粘土でつくるたのしい小物たちー

時間：13:00～

要申込

講師：吾郷江美子さん

参加費：1000円

定員：20名

会場：布部交流センター(美術館となり)

次の企画展

予告

こうげい やすぎ

伝統をひきつぎながら制作を続ける  
工芸家の作品を多数展示します

2024 1.13[土] ▶ 3月末頃(予定)



安来市  
加納美術館の

# 聞かせて!!お客様のこえ

美術館運営をよりよくしていくため、アンケートを実施しています。  
その中からいくつかご紹介し、ご意見ご要望にお答えします。

期間

2023年  
8月5日  
▼  
10月15日

企画展「四國五郎展  
シベリア抑留から『おこりじょう』へ」  
常設展「戦犯赦免から70年、今私たちはー」

## 四國五郎展について

## 加納莞菴について

## 美術館について

40代  
岡山県  
女性

### 映像展示で涙

兄弟対話の映像展示では我慢していた涙がついに限界を超えて出てしまいました。家族がそれぞれに思い合う様子に心が打たれました。

50代  
安来市  
男性

### 「戦争反対」と叫びたくなる

素直に、率直に「戦争反対」と叫びたくなる気持ちがふつふつと沸き上がりました。子どもたちも何かを感じてくれたように思い、良い時間でした。

60代  
浜田市  
男性

### 反省に基づいて平和を

日本人の犯した過去の侵略行為が消えることなく、その反省に基づいて平和をつくらねばならないという精神に、島根にこんな偉人がいたのかと改めて感動しました。

70代  
安来市  
男女

### また来たいと思いました

職員の方に丁寧に接していただき、抹茶とお菓子のおもてなしも美味しく、私の思っていた加納美術館のイメージが違っていました。また来たいと思いました。

10代  
富山県  
女性

### つないでいかなければ

私はまだ14歳で戦争も経験してないが、作品を見ると戦争の悲惨さや戦争で亡くなられた人々のつらさというのが間近で分かったような気がします。「平和とはなんなのか」「戦争とはどういうものなのか」理解することが大切であり、これからつないでいかなければならないんだなと思いました。

60代  
広島県  
女性

### 再び戦争・平和について考える

このような開催は心に残り、今再び戦争・平和について考える機会として伝えていくべきと考えます。

30代  
鳥取県  
男性

### 今の日本に受け継がれているのか

赦し難きを赦したキリノ大統領の思い、莞菴の願いに思いをはせました。戦争の記憶がますます風化し日本の戦争加害がうやむやにされる中、なぜキリノが特赦を与えたのか、莞菴の思いは今の日本に受け継がれているのか深く考えたいです。

おもてなし  
再開しました

### コロナ禍で休止していた抹茶の

おもてなしを再開しました。美術館鑑賞の後に一服どうぞ。



80代  
松江市  
女性

### もっと広く知ってもらいたい人

四國五郎という名を初めて知りました。もっと広く知ってもらいたい人だと思いました。

60代  
米子市  
男性

### こんな施設が身近にあることに感動

初めて来ましたが身近にこのような戦争の悲惨さや平和の尊さを訴える施設があることに感動しました。

Information

## 待望の日本語訳本出版

## 邦訳 加納辰夫嘆願書「加納辰夫文書」より

三島 <sup>ふさお</sup>房夫 訳 永井 <sup>ひとし</sup>均 解説

画家・加納莞菴（本名・加納辰夫）は、日本人フィリピンBC戦犯の助命嘆願書をフィリピン大統領をはじめ多くの要人たちに送りました。それは単に助命嘆願だけではなく、世界平和を求め続ける書簡でもありました。莞菴が世界に発信した書簡は返信もあわせると300通を超え、そのほとんどが英語で書かれています。

本書はこの膨大な数の書簡の邦訳をまとめたもので、訳は地元で英語教師をし莞菴の平和運動の理解者でもある三島房夫さんが約50年前から進めてこられたものです。あわせて、戦犯問題に詳しい広島市立大学広島平和研究所教授の永井均さんの解説も収録。書簡の概要・背景説明・歴史的意義など莞菴の平和運動についてより理解を深める助けとなっています。

出版を記念して、11/3（金・祝）13:30から講演会を開催します。

お求めの方は  
美術館まで



(公財)加納美術振興財団 発行  
¥7,700(税込) / 592ページ  
ISBN : 978-4-9913177-0-5